

取 扱 説 明 書

FM UNIT **IC-EX106**

VOX UNIT **IC-EX107**

PASS BAND TUNING UNIT **IC-EX108**



ICOM

はじめに

この度はICOM製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。

この取扱説明書はIC-551のオプションユニットIC-EX106、IC-EX107、IC-EX108についてまとめて説明してあります。それぞれの項目をよくお読みになってその性能を十分発揮していただきたいと思えます。



目次

プロフィール……………2

IC-EX106 接続方法……………3～4
調整方法……………4
操作方法……………4～5

IC-EX107 接続方法……………5～6
操作方法……………6～7

IC-EX108 接続方法……………8～9
操作方法……………9～10

プロフィール

- IC-551をさらにグレードアップするために開発されたオプションユニットです。
- 各ユニットは完全調整済みですから組み込むだけですぐにご使用になれます。

■ IC-EX106 (FMユニット)

- ICOMのオリジナル回路を採用し、安定したきれいなFM波を発射できます。
- 高性能セラミックフィルターの使用で高選択度を実現。さらにセラミックディスクリミネータの採用で安定したFM復調特性を得ています。

■ IC-EX107 (VOXユニット)

- SSBモード時のVOX操作と、CWモード時のセミブレイクイン操作ができます。
- BBD (オーディオ信号遅延) 素子を採用し、送信立ち上がり時の頭切れを防止しています。

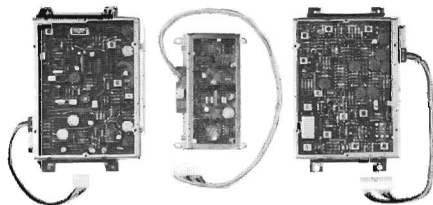
■ IC-EX108 (パスバンドチューニングユニット)

- SSB・AMモード受信時は可変操作により混信をカット。また、CWモードでも可変操作で $\pm 500\text{Hz}/-6\text{dB}$ のナローフィルターとして動作します。
- SSBモード送信時はトークパワーをアップするRFスピーチプロセッサーとして動作します。

IC-EX106

IC-EX107

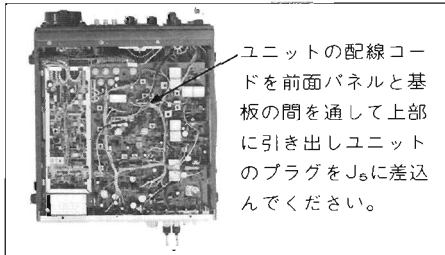
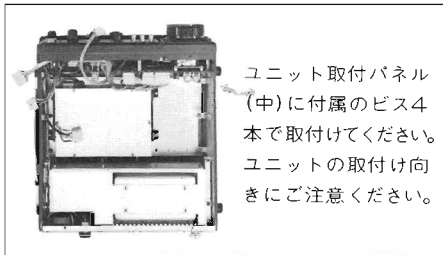
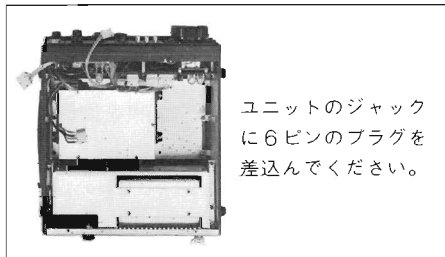
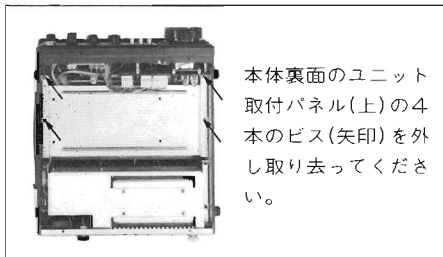
IC-EX108

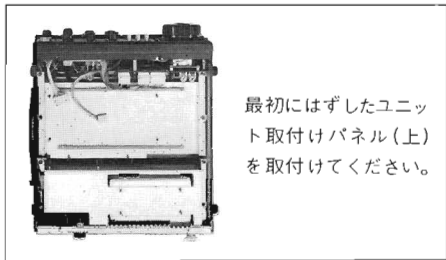


IC-EX106 (FMユニット)

■接続方法

- 上面、下面のカバーパネルを外してください。





最初にはずしたユニット
取付けパネル(上)
を取付けてください。

接続が終了しましたら本体のカバーパネル
を付けてください。

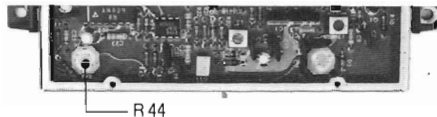
ご 注 意

FMユニットは接続完了後に本体の
MODEスイッチをFM-Cにセットし
てメーターの振れを確認してくださ
い。針の振れが中央を指示しない時
は次の「調整方法」にしたがって調
整してください。

■調整方法

- 本体のモードスイッチをFM-Cにセ
ットしてください。
- FMユニットの蓋パネルをビス6本
を外し取り去ってください。
- センターメーターの振れを見なが
ら下図に示すボリュームを回してく
ださい。
- メーターの振れが中央になったと
ころにセットしてください。

調整が終了しましたらユニットの蓋をも
通りに付けてください。



■操作方法

受信

- MODEスイッチをFM-SまたはFM-C
の位置にセットしてください。
(FM-Sの時はSメーター、FM-Cの
ときはセンターメーターとして動作します。)

- チューニングつまみを回してFM信号が受かりましたらSメーターの振れが最も振れ、センターメーターの指示が中央のところにセットしてください。FM信号が受信できます。

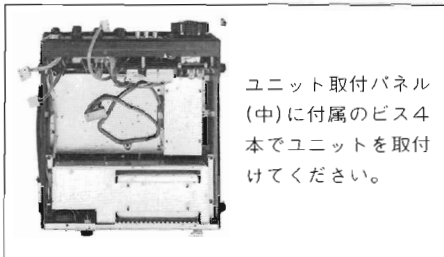
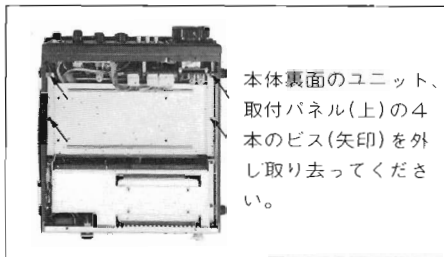
送信

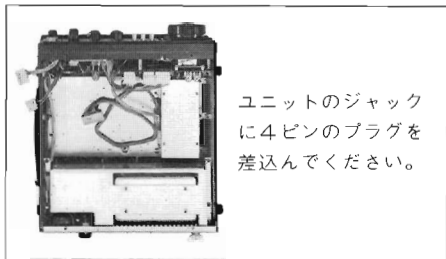
- MIC GAINつまみを約半分（時計の2時方向）にセットしてT・RスイッチをTRANSMIT側に倒すか、マイクロホンのPTTスイッチを押してください。
- TRANSMIT表示ランプが点灯し、同時にRFメーターが振れ送信状態になります。
- この状態でマイクロホンに向かって普通の声で話してください。
（FMはSSBと違って音声によってメーターの振れは変化しません。）
- 送信が終了しましたらT・RスイッチをRECEIVEにするか、PTTスイッチを離せば受信状態に戻ります。

IC-EX107 (VOXユニット)

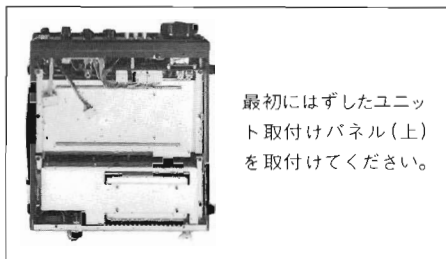
■接続方法

- 上面、下面のカバーパネルを外してください。

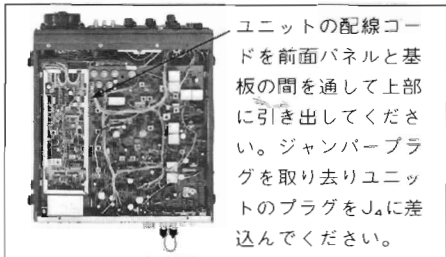




ユニットのジャック
に4ピンのプラグを
差込んでください。



最初にはずしたユニッ
ト取付けパネル(上)
を取付けてください。



ユニットの配線コー
ドを前面パネルと基
板の間を通して上部
に引き出してくださ
い。ジャンパープラ
グを取り去りユニッ
トのプラグをJ₄に差
込んでください。

接続が終了しましたら本体のカバーパネル
を付けてください。

■操作方法

VOX操作

- VOX操作の調整は本体上蓋内のつま
ミで行います。

その位置

動作

スイッチ

調整

電

調整

調整

調整

トしてください。

VOXGAIN 反時計方向に回しきる

ANTI VOX 反時計方向に回しきる

VOX DELAY 時計方向に回しきる

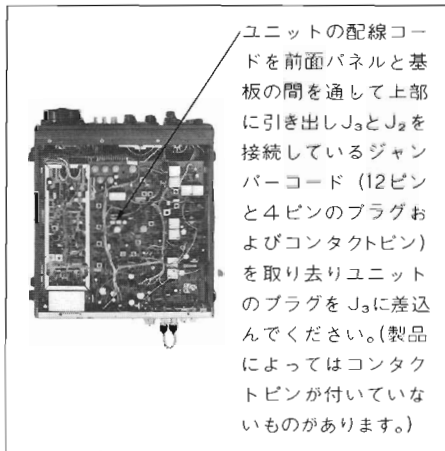
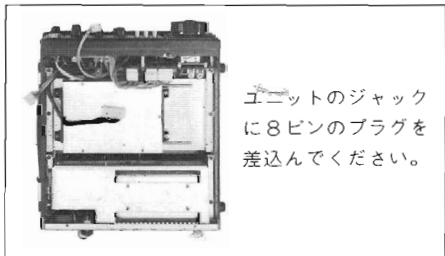
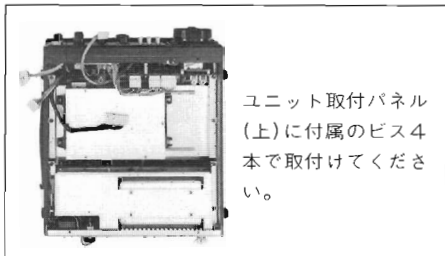
※前面パネルのVOXスイッチを

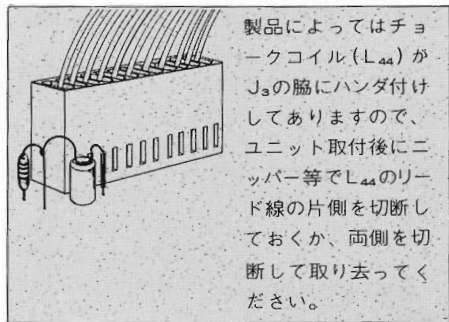
マミを調整してください。このツマミを時計方向に回して行きますとスピーカーの音で動作しなくなるところがありますからその位置にセットしてください。

IC-EX108 (P.B.TUNEユニット)

■接続方法

- 上面、下面のカバーパネルを外してください。





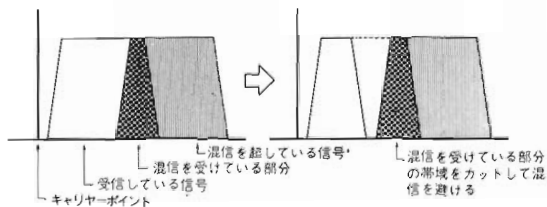
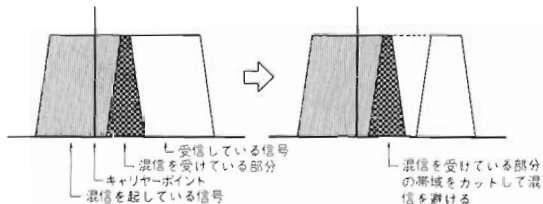
接続が終了したら本体のカバーパネルを付けてください。

■パスバンドチューニングの使い方

- パスバンドチューニングは受信時に水晶フィルターの通過帯域を電気的操作によって帯域の上側または下側いずれからでも約700Hz/−6dBまで連続的に狭くすることができる回路です。従って近接した周波数の信号

によって混信を受けているときなどに効果を発揮します。

- 例えばUSBを受信中下図のように下の周波数による混信を受けたとき（混信して聞こえてくる音声は低音で聞えます）は、P. B. TUNEつまみ



を時計方向に回して、混信を受けている部分の帯域を狭くしてください。受信している信号はUSBですから、低音部分がカットされ混信を避けることができます。また、上の周波数による混信を受けたとき（混信して聞えてくる音声は高音で聞えます）は、P. B. TUNEツマミを反時計方向に回してください。受信している信号の高音部分がカットされ、混信を避けることができます。

- また、CWを受信しているときは、P. B. TUNEツマミを反時計方向に回しますと可変操作で±500Hz/−6dBのナローフィルターとして動作します。
- この回路は、音質調整としても利用できますので、お好みの音質になるようにツマミを回してください。

■スピーチプロセッサの使い方

- パスバンドチューニングユニットは送信時にはトークパワーをアップするRFスピーチプロセッサとして動作しますのでDX通信などでその威力を発揮することができます。
- COMP. ツマミを時計方向に回し、ONにしますとスピーチプロセッサ回路がリミッター動作してマイクゲインを約10dBアップしたときと同じ状態になり、トークパワーがアップします。
- また、このツマミはPOWER出力調整ツマミと連動していますのでSSBでは出力が1W〜10W連続でスピーチプロセッサが動作していることになります。
- COMP. ツマミをOFFにもどしますと、送信出力は常に最大の状態で動作します。



ICOM

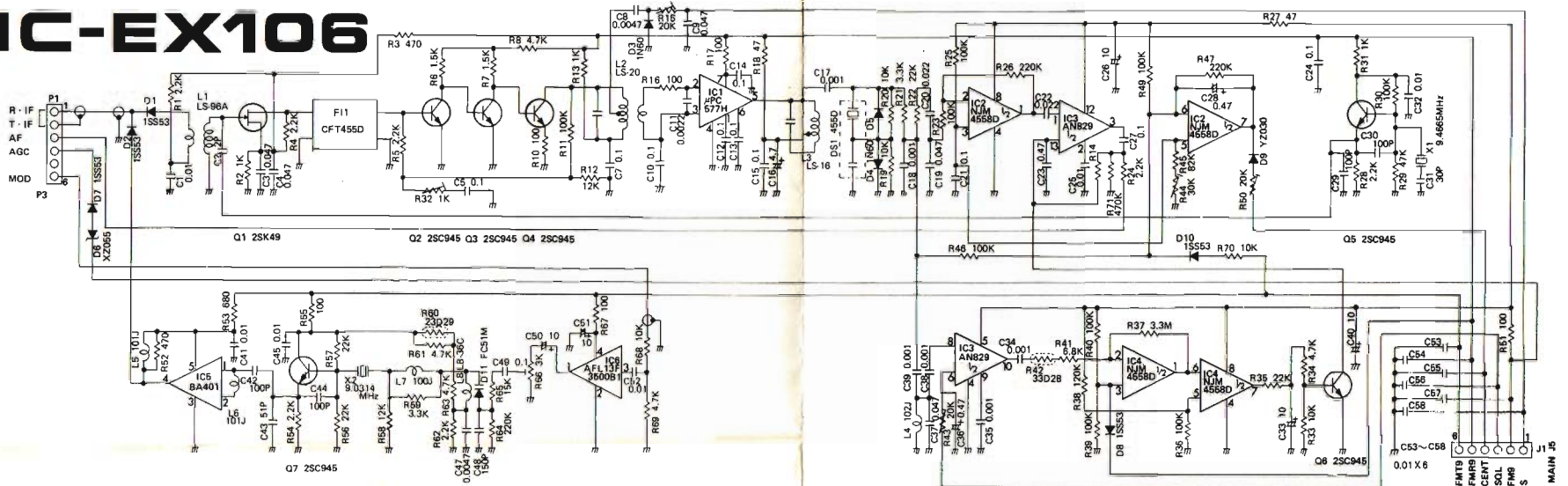
アイコム株式会社

本社 ☎547 大阪市平野区加美鞍作1丁目6番19号 ☎(06)793-5301(代)
大阪営業所 ☎547 大阪市平野区加美南1丁目8番35号 ☎(06)793-0331(代)
東京営業所 ☎161 東京都新宿区中井2丁目1番28号 大本ビル3F ☎(03)954-0331(代)
名古屋営業所 ☎456 名古屋市熱田区森後町1丁目60番地 宝ビル1F ☎(052)682-8151(代)
広島営業所 ☎784 広島市宇品御幸2丁目16-5 ☎(0822)55-0212(代)
九州営業所 ☎812 福岡市博多区古門戸町5番17号 ☎(092)281-1296(代)
北海道営業所 ☎061 札幌市北区北11条西1丁目16番地の4 鐘野ビル1F ☎(011)712-0331(代)

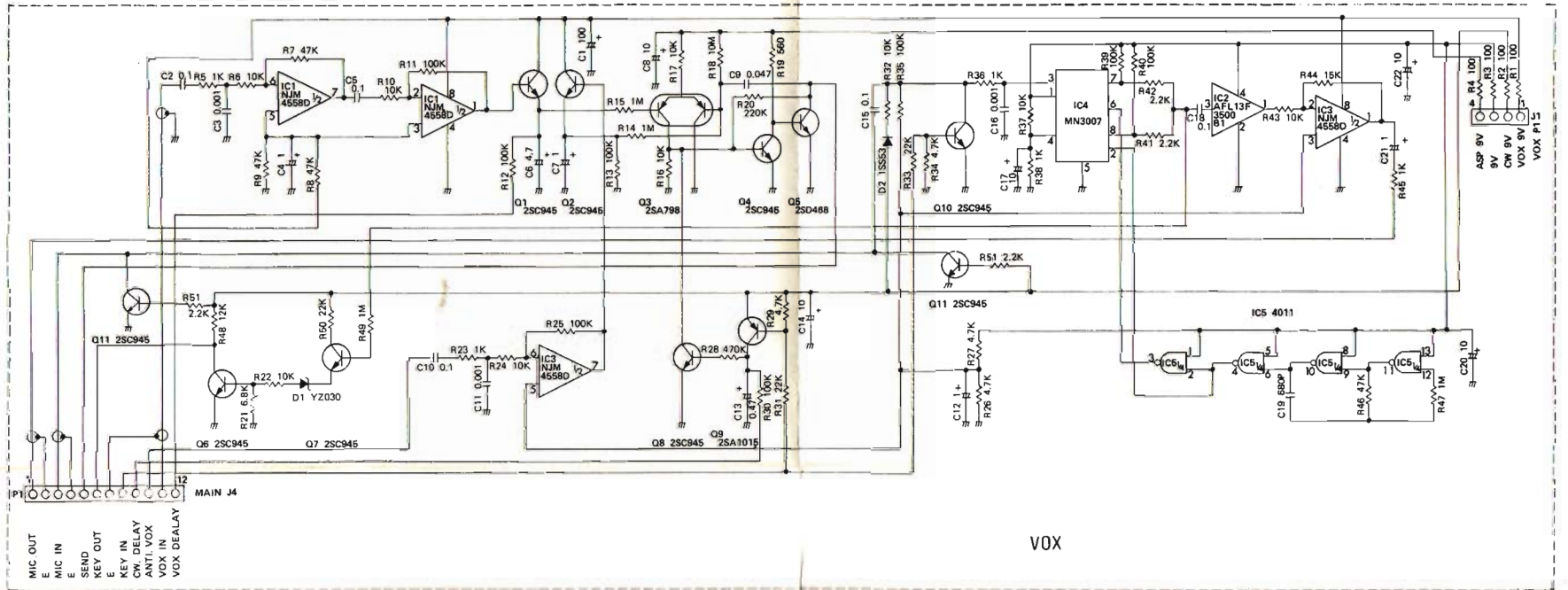
・サービスについてのお問い合わせは各営業所サービス係宛にお願いします。

IC-551 オプションユニット回路図

IC-EX106

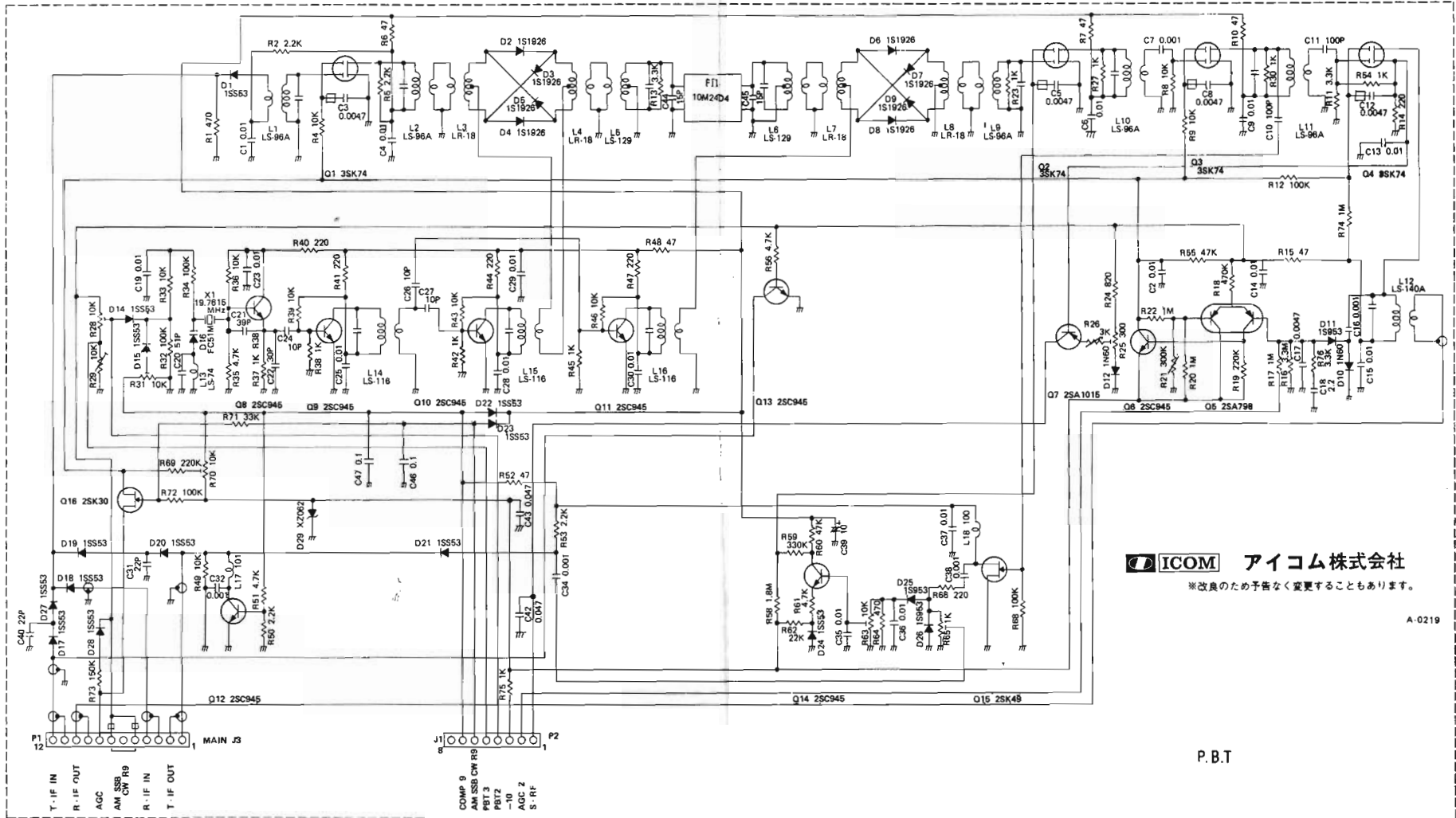
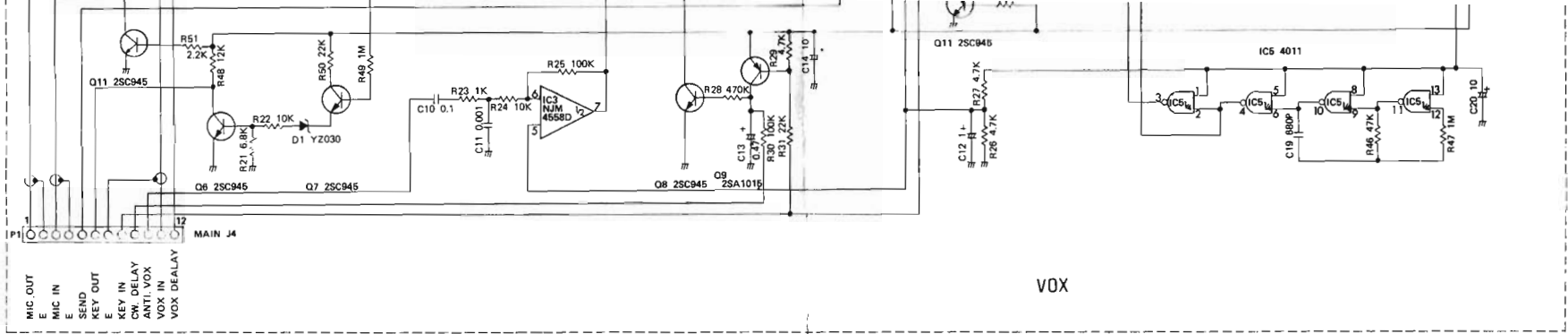


IC-EX107



VOX

IC-EX108



ICOM アイコム株式会社

※改良のため予告なく変更することもあります。

A-0219

P.B.T